

NIH、NIDAとNIAAAの合併計画を撤回（11月16日）

国立衛生研究所（National Institutes of Health：NIH）所長のフランシス・コリンズ氏（Francis Collins）は11月16日、顧問委員会の提言を受けて国立薬物乱用研究所（National Institute on Drug Abuse：NIDA）と国立アルコール乱用・依存症研究所（National Institute on Alcohol Abuse and Alcoholism：NIAAA）を合併する計画を2年前に発表した。それを撤回することを明らかにした。

科学コミュニティーの間では合併計画に対して発表当初から意見が分かれており、特に組織的に小規模のNIAAA側の研究者から、意見が軽視されることや、予算配分が得にくくなること、さらに、飲料品業界やアルコール依存症研究者を中心に、薬物乱用研究と統合されることで合法的な飲酒の印象に悪影響を与える、などの理由で強い反対意見が出されていた。

そのため、NIDAとNIAAAに調整期間を与えていたものの遅々として調整が進まなかったこともあり、コリンズ氏は合併計画を撤回し、代わりに今後は両研究所の境界を越えて共同で依存症研究に取り組む「機能的統合」とすることとしている。

なお、コリンズ氏による声明全文は、
<http://nih.gov/about/director/11162012_statement_suaa.htm>からダウンロード可能。

Science Insider, NIH Backs Off Plan to Merge Addiction Institutes
<http://news.sciencemag.org/scienceinsider/2012/11/nih-backs-off-plan-to-merge-addi.html>